

付表. 当院を受診された入院・外来患者さまへ

当院では下記の研究を実施しております。本研究の対象者に該当する方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	新型コロナウイルス感染症回復患者の理学療法症例レジストリ による前向き観察研究
当院の研究責任者	酒井 英樹 (リハビリテーション技術部)
他の研究機関及び研究分担者	玉木彰 (兵庫医療大学 リハビリテーション学部 教授) 共同研究機関：別紙
本研究の目的	新型コロナウイルスから回復され、呼吸理学療法(呼吸リハビリテーション)を実施されている方の身体機能の特徴や理学療法の効果を調査し、理学療法の実態を把握します。さらに退院後の身体機能に関する調査を行い、退院後の身体機能回復について検証します。この研究は、日本呼吸理学療法学会「新型コロナウイルス感染症回復患者の理学療法レジストリプロジェクト」の一環として計画されております。
研究の方法 (使用する試料等)	<p>●対象となる患者さま 新型コロナウイルスにて「呼吸理学療法/呼吸リハビリテーション」を実施する入院外患者さま</p> <p>●利用する情報の項目</p> <p>1. 入院患者さまの場合</p> <p>①診療記録より以下の情報を使用します。 入院日・退院日・前医入院・転帰・呼吸器疾患の既往・併存疾患・ICU 管理の有無・ECMO 装着有無・気管切開の有無・重症度・新型コロナウイルス陰性確認日・血液検査・リハビリテーション処方日</p> <p>②理学療法(リハビリテーション)記録より 理学療法士が、リハビリテーション開始時と終了時に実施する以下の情報項目を使用します。 入院前身体機能・理学療法基本情報・呼吸困難・ADL(日常生活レベル)・身体的フレイルスコア・サルコペニアスコア・身体組成(身長・体重・下腿周径)・運動機能(SPPB・握力・6分間歩行距離)・活動能力</p> <p>2. 退院時にお渡しする自己記入式質問票を記入いただきます。 活動能力・身体機能質問票・(65歳以上)厚生労働省日常生活チェックリスト</p>
試料/情報の他の研究機関への提供 および提供方法	当院にて診療の過程で得られた診療情報を研究事務局に提出いたします。提出は症例登録システムもしくは、電磁媒体となります。また、紙面による症例登録書を提出し、研究事務局にてデータの集計の確認作業に使用されます。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除され、研究事務局には一切提出いたしません。また、研究成果は学会等で公表予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	症例登録システムの管理・運用は日本呼吸理学療法学会の事業経費を資金源として実施されます。また、成果報告は、科学研究費助成事業 基盤研

	究(C)が資金源となります。研究者は、本研究の実施や報告の際に、金銭的な利益やそれ以外の個人的な利益のためにその専門的な判断を曲げるようなことは一切ありません。
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	当院管理者 リハビリテーション技術部 酒井 英樹 研究事務局 広島大学大学院医系科学研究科 関川清一
お問合せ先	電話：078-576-5251(代表) リハビリテーション技術部 酒井 英樹
他施設の研究分担者	公立陶生病院 小川智也 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 神津 玲 広島大学大学院医系科学研究科 関川 清一 畿央大学・健康科学部 田平一行 京都橘大学・健康科学部 堀江 淳 杏林大学・保健学部 木村 雅彦 広島都市学園大学健康科学部 馬屋原 康高 帝京平成大学・健康医療スポーツ学部 守屋 正道 神戸大学大学院保健学研究科 沖 侑太郎 新潟県立がんセンター新潟病院 瀬崎 学 岩手県立磐井病院 田中 結貴 KKR高松病院 宮崎 慎二郎 市立秋田総合病院 川越 厚良